



ひろみ  
裕美先生の

わたくしがこどもだったころ...

いいおこあ♡

私は『これがしたい!』というものを見つけると、すぐに始めたくて、さらにやり始めるとそれが完成するまで没頭してしまいます。今思えば、私の母が家のことがひと段落すると夜な夜な油絵や裁縫、編み物等に没頭していた姿を思い出し、親子だなーと(笑)。小さい頃のお出かけの服は、すべて母親の手作りでした。色やデザインが嫌で『着たくない!』と言って困られた時もありましたが、『裕美ちゃんのお母さんってすごいね』と言われることも多く、自慢の母でもありました。そんな母の血を引き継いだ私、小さい頃好きだったテレビ番組があります。それはNHK教育テレビの『できるかな』。本当に大好きで、何でも作れるのっぽさんを尊敬し、毎回楽しく観ていました。ある時、段ボールを使った工作の回で、真似して作ってみようとして兄と一緒に巨大な段ボールハウスを作ったのを鮮明に覚えています。12畳の客間いっぱい・・・(笑)。使えると思った材料をかき集めて、ガムテープで張り合わせて。完成するとその中にお菓子を持ってきて食べたり、毛布を持ってきて寝転がったり・・・。楽しくて時間も忘れて兄と遊んでいました。そんな気持ちが47歳になっても残っていて、今ではバスケットをしている娘達のお守りを作ったり、突然パン作りがしたくなって、YouTubeを観ながら夜な夜な作り始めたり・・・。そんな私を家族は『また始まったな・・・』と文句も言わず温かくほっといてくれているのに、日々感謝!!『次は何をしようかな・・・』とYouTubeやInstagram見ながら考えている今日この頃です。



ひろみ6さい♪

こどものつづやき

ことば&アート

今回は...

つづやき特集!

めんどいつづやきがたくさんありました♡

園庭の砂場で砂を集めて山が出来上がりました。そこに3歳児のMくんが、乾いた白っぽい砂を上からかけ、出来たお山を見て・・・。

Mくん「ふりかけごはんみたい!」

園庭で虫探しをしていた5歳児のIくん。お目当ての虫を見つけると・・・。

Iくん「おいで〜♡かわいいこちゃん♡♡」

ある日の2歳児さん。

Sちゃんが髪型をツインテールにしてもらい、「みにーちゃんなの♡」と嬉しそうに教えてくれました。その様子を近くで見ていたHくんは・・・。

Hくん「ぼくは、おにーちゃんだよ!!」

2歳児さんで育てているパプリカが赤くなりました。

Kくん「せんせーみてー!」

T先生「赤いパプリカだね。どんな味するのかな?」

Kくん「あまいんだよー!」

Sちゃん「いちごのあじするんだよ!」

T先生「え〜♡おいしそう!!」

Kくん「おいしくないよ・・・」(野菜が苦手...)

幼児組さんと運動会に向けての活動が始まった頃・・・。

Hくん「せんせい? いちいはいきんメダル?」

A先生「そう、金メダルだね!」

Hくん「2位は??」

A先生「Hくんわかる?」

Hくん「ぎんだよー」

A先生「よく知ってるね!じゃあ3位は?」

Hくん「どうー」

A先生「お〜あたり。すごいね〜」

Hくん「よんいは?」

A先生「4位はないんだよ」

Hくん「あるよ!かみー!!」

・・・ぶっくえんど・・・

今年は残暑が短く「秋」をちゃんと感じられますね

秋といえば『食欲の秋』一択です♡お芋、くだもの、好きなものがますますおいしくなる季節。先日より我が家でも、新米をいただき始めました。やっぱり違う!おいしい〜!!シンプルに食べるのが1番いいのではないかと「塩おにぎり」にしたところ、これが絶品!ただいま我が家では塩おにぎりブームとなっています♡プラスあつあつ芋煮が最高の並びですね!!♡みなさんの秋の味♡は、なんですか?♡

ぶらんこ担当 坂野春佳

第131号 2026年9月29日

松ヶ岬保育園

〒992-0059

米沢市西大通1丁目6-56

TEL21-0349/FAX21-0369

E-mail matsuga@smile.ocn.ne.jp

http://www.syogokai.jp/matsugasaki/

# ぶらんこ





年長児  
おとまり保育







## 運動

### はこびようかい







# こどもファースト

## ～午睡編 乳児・幼児～

昨年度は子どもたちの主体性が感じられるエピソードをクラスごとに紹介してきました。今年度は、子どもたちの姿を保育者がどのように受け止め、どのように応えているのかをお伝えします。



食後は子どもたちにとって大切な「おひるねの時間」です。

0・1才児は、眠くなるタイミングも1人ひとり違います。園では、眠くなった子から安心して布団に入れるよう、ゆったりとした環境を整えています。「眠たいな」という子どもの気持ちを大切にしながら、それぞれのペースで午睡をしています。

2才児になると、生活の流れが分かり、食後は歯磨きをしたりパジャマに着替えたりと、自分で意欲を持って出来るようになり、午睡の時間へと入っていきます。

幼児組になると、午睡に入る為の準備も自分たちで行うようになってきます。食事前後、5才児は毎日、午睡する部屋を掃除し布団敷きをしてくれています。小さい子たちの為にと一生懸命です。その後、5才児が自分たちの布団も敷いている様子を見て、4才児から「あおくみさん（5才児）大変そうだね…」の声が聞かれました。「頑張っているあおくみさんの為に何が出来るか…」。考えた結果、「自分たちの布団は自分たちで敷く」という事を思いつきました。その事を今までの感謝と共にあおくみさんに伝え、その日から自分たちで敷いています。限られたスペースに自分たちで敷くのは最初は難しい所もありましたが、友だちとやり取りをしながら毎日頑張っています。3才児は午睡明け、「自分の布団は自分で片付けよう！」と小さい体で一生懸命布団を持ってカートまで運んでいます。大きい子たちの姿を見て、自然と自分たちが出来る事をやってみようとする、そんな姿が見られ、とても嬉しく感じています。

乳児から幼児へ…1人ひとりのペースを大切にしながら、少しずつ「自分でできること」が増えていく。そんな子どもたちの成長が、午睡の時間からも感じる事が出来ます。



献立表に不定期で掲載していた「給食室からこんにちは!」が、今年度はぶらんこにも出張することになりました! 1年間お付き合いください!



米沢の秋の食べものといえば、そう!「芋煮」です!

保育園でも毎年芋煮会をします。その日の芋煮は、幼児組さんが下準備を担当、年中・年少組さんがきのこやこんにゃくをちぎり、年長組さんが大根の皮をむいたり、豆腐やねぎを包丁で切ります。食材を触ってみて初めてわかることも多く、「こんにゃくってなかなかちぎれない」「ねぎを切るのがむずかしい」と、子どもたちの発見が止まりません。下準備が終わると、子どもたちの見えるところで煮ていきます。ぐつぐつ煮えてきた鍋のふたを開けると、大きく上がった湯気に「煙だー!」と大興奮! 煙とはちがうことを知り、また新しい発見! たくさんの新発見をした後、みんなで芋煮をいただきます。食べていても「大根やわらかくなったね」と出来上がる前の食材を知っているからこそその発見もたくさんあります。

目で見て、手で触れ、調理のにおいや音を感じて、食べて味を感じる、料理は五感を刺激

してくれます。その体験を繰り返して、将来の食べる力にもつながっていくと思います。子どもたちの食体験が豊かで充実したものになるように、日々の食事を大切に作っていききたいと思う毎日です。



／我が家の／

## 勝負メシ!

ひかりちゃんのお母さん  
佐久間 千尋さん



長女はパンや肉が好きで洋食派、次女の光はご飯や魚が好きで和食派です。姉妹でこんなに真逆になる…?と嘆きながら日々のご飯出しと戦っています。そんな姉妹でも箸が進む、特別な日に作る我が家の勝負メシは『肉団子』です! 私の妹の帰省や親戚が集まるなど大勢でご飯を食べる時に大量に作るのですが、あっという間になくなります。この肉団子は私も大好きで、子供の頃から母がよく作ってくれていました。長女を出産し育休中に母の味を覚えたくて聞いたところ「本当はばあちゃんの味なんだよ。私は見よう見まねだから今度習ってきて～」と言われ、エプロンとメモ帳を持って祖母のもとへ習いに行きました。刻んだ玉ねぎとひき肉などを捏ねて大きく丸め、油で揚げたらケチャップベースでちょっと甘めの餡に絡めて大皿にドン! この味を娘たちももりもり食べてくれる姿を見ると感慨深いです。

この写真の肉団子を作ったときは初めて長女が捏ねる作業を手伝ってくれました。光もお手伝いが大好きなので、そろそろ一緒に作れるかな? いつかはこの味を受け継いでくれると嬉しいな～と思いながら「おいしい!」「おかわり!」の笑顔を眺めています。



～将来のあなたへあてたお手紙です～

## 大きくなったきみへ

海虎くんのお父さん  
須藤 哲也さん

海虎へ

海虎へこうして手紙を書くのは初めてだけど二十歳という節目を迎える今だからこそ想いを伝えます。

我が家の末っ子として生まれた日のことは、今でもよく覚えています。海虎という名前は、生まれてくる前から乃愛も龍誠も家族みんなで考えて決めた、たくさんの願いが詰まった特別な名前なんだよ。

そこからの毎日は、本当に賑やかで楽しい日々でした。海虎が赤ちゃんの頃、乃愛は一生懸命ミルクを飲ませてお世話をしてくれて、龍誠は体を少し緊張させながらも嬉しそうにそっと優しく抱っこしてくれたんだよ。小さな二人がさらに小さな海虎を真ん中にしてみんなでニコニコ笑い合っていたリビングの風景は、今思い出しても本当にほっこりします。そんな二人の後ろを追いかけていると思ったら、ちゃっかり美味しいところを持って行ったり、怒られているのに可愛い笑顔でスルーしたり、海虎のたくましさや明るさにはいつもたくさんの元気をもらってきました。

これからの人生楽しいことばかりじゃなくて、落ち込む時間もあると思います。そんなときはカッコつけずにいつでも頼ってこい。完璧じゃなくていいし、失敗してもいい。海虎が自分らしく、心から笑って幸せに生きていくこと、それだけが家族みんなの願いです。

生まれてきてくれて本当にありがとう。みんな海虎のことが大好きだよ。

父・母より

